

「ちばの系統豚」情報

2008年 2月

千葉県畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室

1) 試験研究成果発表会の開催のお知らせ

日時：2月13日（水）10:00から

場所：印旛合同庁舎2階大ホール

佐倉市鎚木仲田町8-1（TEL 043-483-1125）

「千葉県養豚大会」と合同開催となります。



☆電車・バスをご利用の場合

★JR佐倉駅より徒歩約15分

京成佐倉駅より徒歩約25分

★バスのご利用

京成佐倉駅より

「JR 佐倉」・「八街」・「和田」

「第三工業団地」・「西御門」行き

『岩淵薬局』下車、徒歩約5分

試験研究成果発表(10時開会)

※各課題の時刻はおおよその開始時間です。5課題目終了後昼食となります。

- 10:10 二元交雑種WDの産肉性に及ぼす止め雄系統の影響
- 10:30 中ヨークシャー種に県産規格外カンショを給与した特徴ある銘柄豚づくり
- 10:50 肥育豚におけるコンビニエンスストア残さの利用
- 11:10 DNAマーカーによるトレサビリティシステムの検証
- 11:30 トレサビリティシステム導入に伴う農家経営に及ぼす効果
- 12:45 レーダーチャート成績表を活用した

一豚組合における環境・衛生指導効果について

千葉県養豚大会(13時30分開会)

講演内容

「食品残さ利用飼料の安全性確保のためのガイドラインについて」

関東農政局消費・安全部安全管理課畜水産安全係長 春日 洋文先生

「豚疾病対策のための衛生管理について」

ーサーコワクチンの適切な利用に向けてー

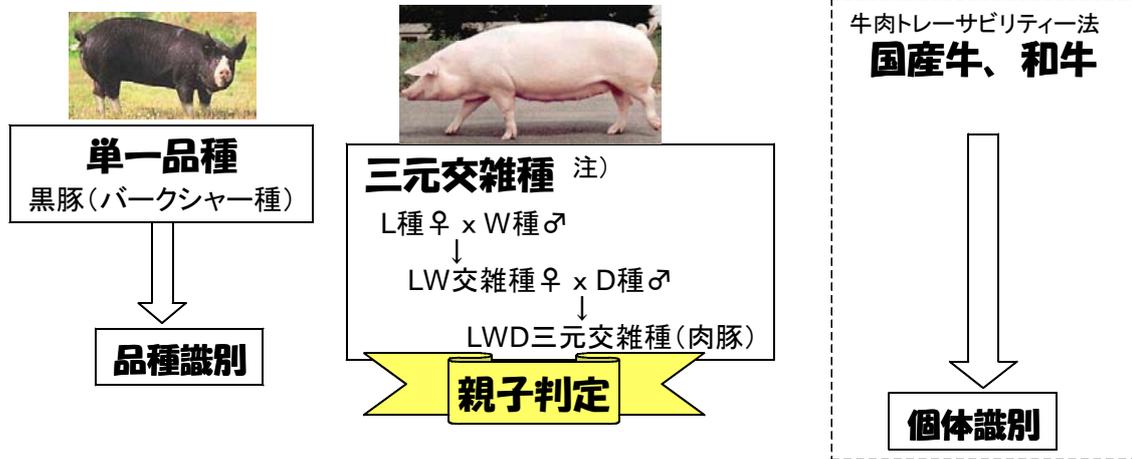
ベーリンガーラインゲルハイムベトメディカジャパン（株）

テクニカルサービス 菊入 鉄大先生

2)DNAマーカーによる親子判定法の開発

開発

食品の安全性に対する関心の高まりから、豚肉においてもトレーサビリティシステムへ取り組むようになり、そのシステムチェックのためDNAを利用した判定技術の開発が求められた。



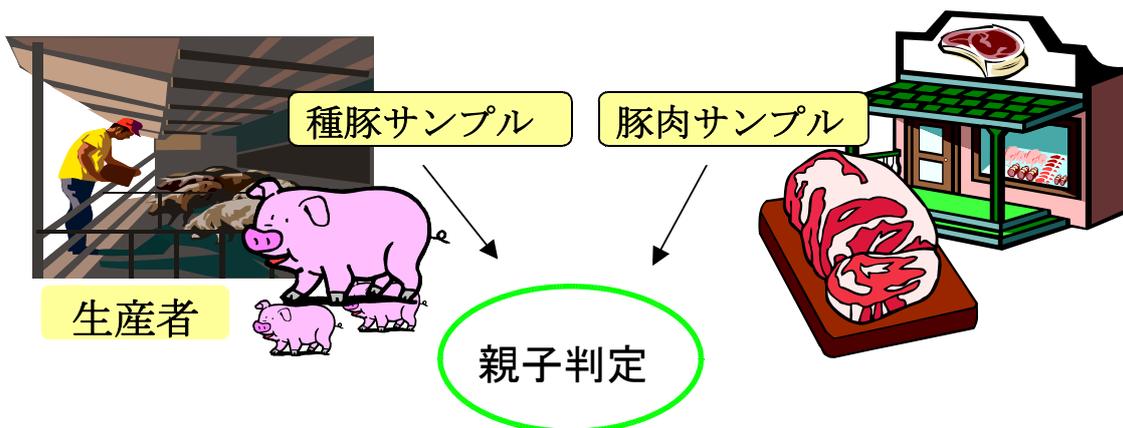
- ・豚は飼養頭数が多く、単価が安いことから**個体識別はコスト面から実用的でない**。
- ・黒豚は品種識別を行うことができるが、国内では**交雑種が主に生産されている**。

三元交雑種において正確かつ効率的なDNAマーカーによる親子判定技術を開発した。

1チューブで反応可能な10個のマーカーを用いて、**99.8%**の確率で親子を判定できる。

利用

現在、県内トレーサビリティシステムの検証に開発した方法を利用し、親子判定を行っています。



注) L: ランドレース、W: 大ヨークシャー、D: デュロック

(独農業生物資源研究所との共同研究、および共同特許出願です。)

詳しくは養豚の友3月号
に掲載されます